

<参考資料>

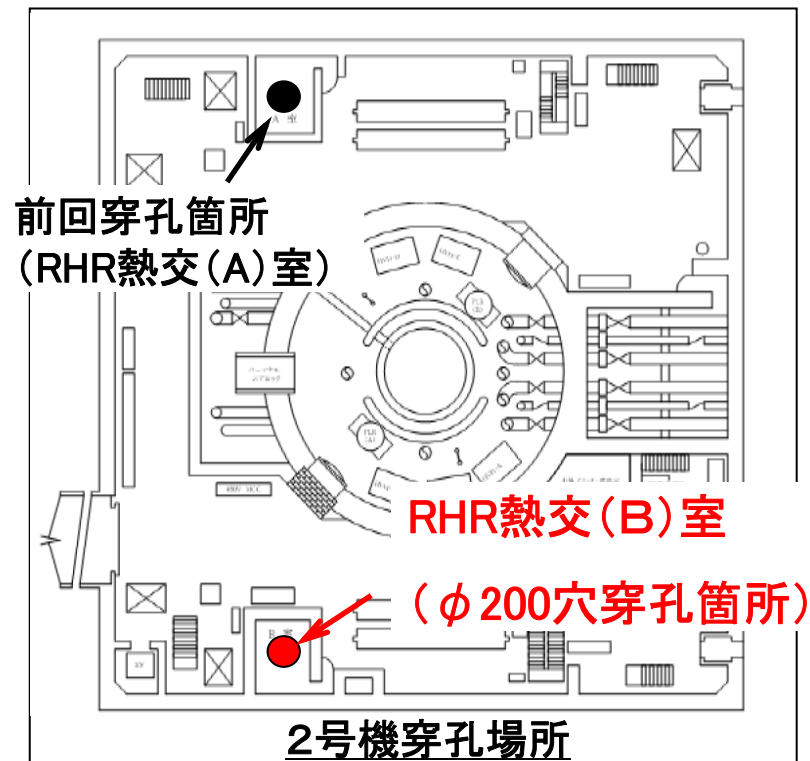
福島第一原子力発電所 2号機トーラス室調査について

平成25年4月12日
東京電力株式会社

1. 調査方法(温度・線量・カメラ、滞留水・堆積物採取)

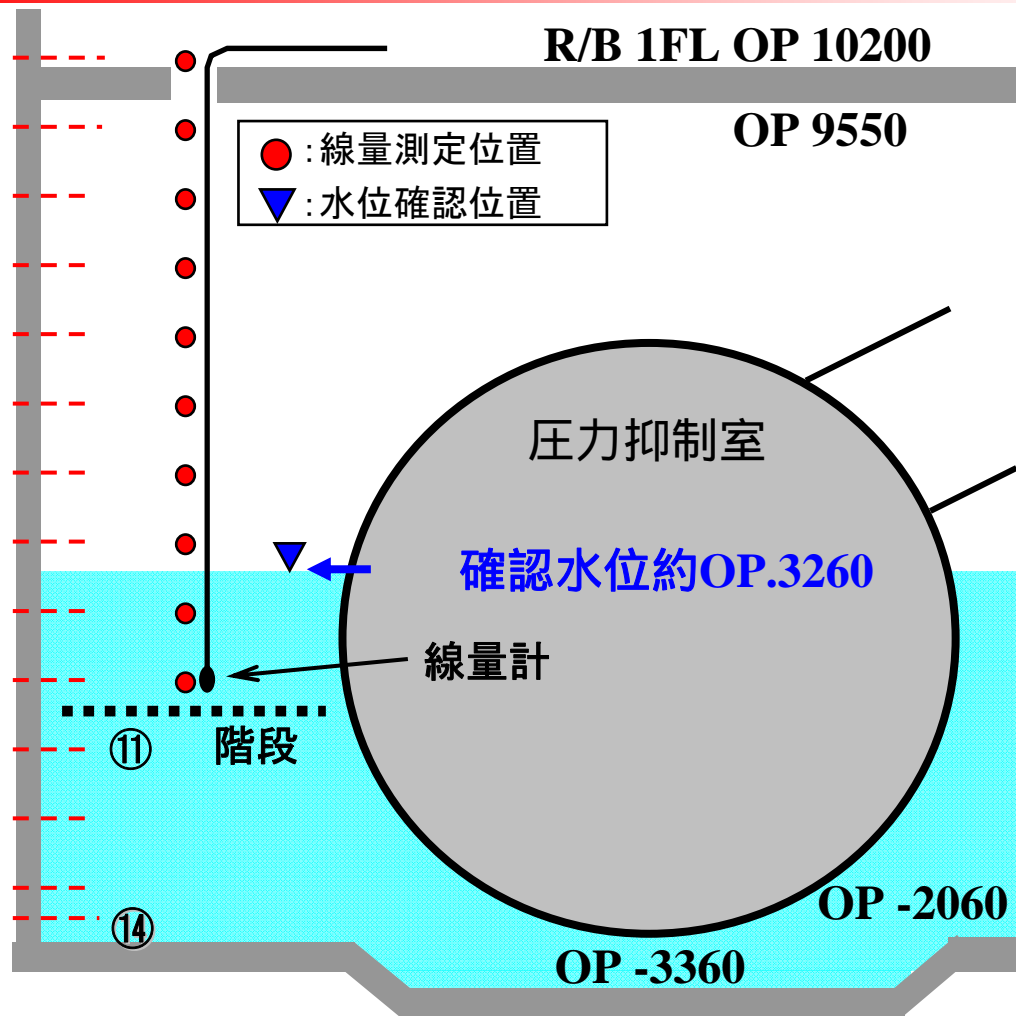
原子炉建屋1階南側RHR熱交(B)室床面にあけた $\phi 200$ の孔より、温度計・線量計・カメラを挿入しトーラス室内の調査を実施した。(4/11実施)

原子炉建屋1階南側RHR熱交(B)室床面にあけた $\phi 200$ の孔より、滞留水採水用ホース・堆積物採取装置を挿入し、滞留水・堆積物を採取した。(4/12実施)



調査実施項目	
4/11 (木)	線量測定(雰囲気・滞留水)
	温度測定(雰囲気・滞留水)
	画像取得(トーラス室内)
4/12 (金)	滞留水採取
	堆積物採取

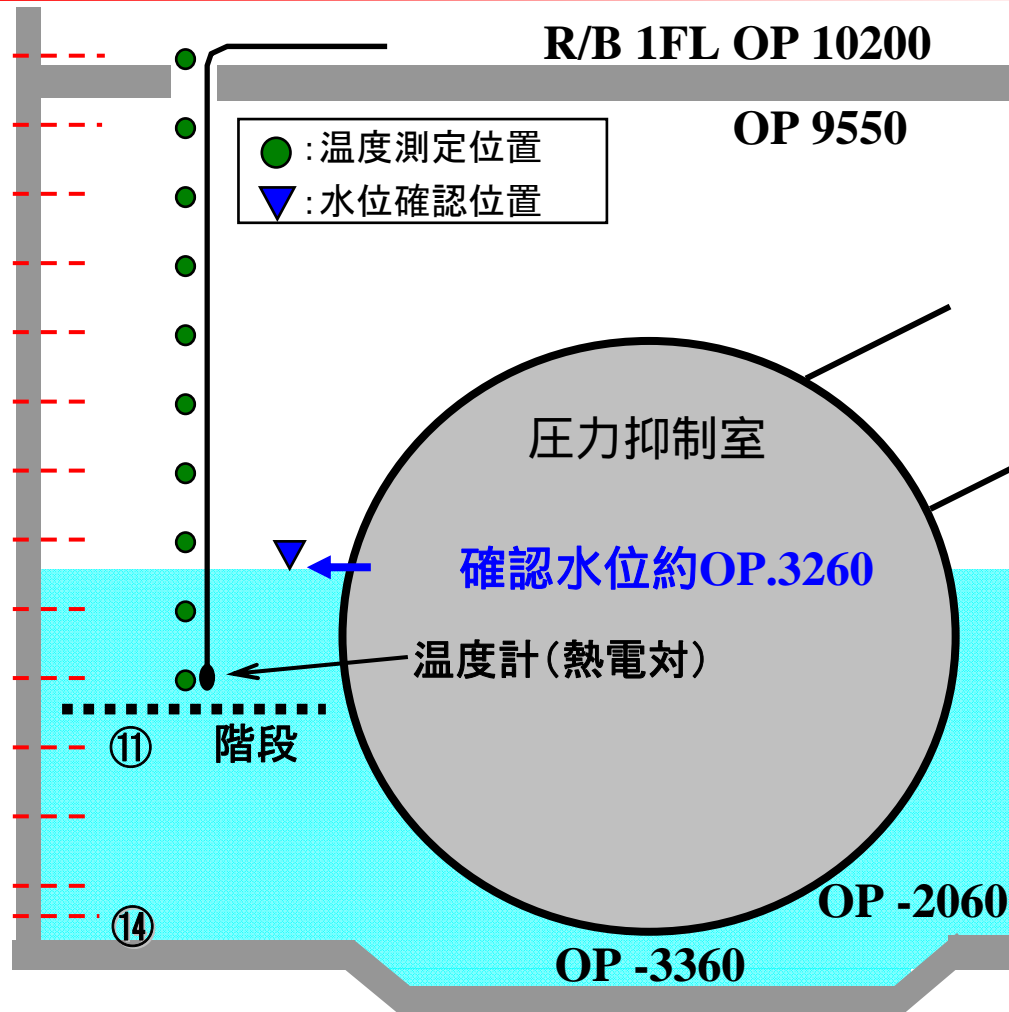
2. 測定結果(線量)



	位置(参考値)	線量【mSv/h】
①	OP.10500	4.3
②	OP.9500	6.2
③	OP.8500	10.3
④	OP.7500	15.3
⑤	OP.6500	20.5
⑥	OP.5500	32.8
⑦	OP.4500	74.0
⑧	OP.3500	【最大】134.0
—	水位OP.3260	—
⑨	OP.2500	18.7
⑩	OP.2000	23.7
⑪	OP.500	—
⑫	OP.-500	—
⑬	OP.-1500	—
⑭	OP.-1760	—

- ・ 約 1 m 毎の線量を測定
- ・ 最大線量は，水面付近の約 134 mSv/h であった。

3. 測定結果(温度)



	位置(参考値)	温度【℃】
①	OP.10500	16.3
②	OP.9500	18.1
③	OP.8500	19.6
④	OP.7500	20.4
⑤	OP.6500	20.4
⑥	OP.5500	20.7
⑦	OP.4500	20.6
⑧	OP.3500	20.1
—	水位OP.3260	—
⑨	OP.2500	25.2
⑩	OP.2000	25.2
⑪	OP.500	—
⑫	OP.-500	—
⑬	OP.-1500	—
⑭	OP.-1760	—

- ・ 約 1 m 毎の温度を測定
- ・ 気中温度は約 20 ，水中温度は約 25 程度であった。

4. カメラ画像結果

滞留水水位

約OP.3 2 6 0（深さ：約5.3m）であることを確認。

滞留水透明度

約100cm以上の透明度であることを確認。

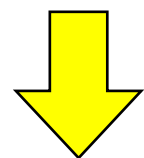
トラス室内構造物について

画像から確認できる範囲では、さび等は確認されたものの、**構造物に大きな破損は確認されなかった**。詳細評価は今後実施。

なお、水面下約1.5mでトラス室階段と干渉したため、**底部の撮影はできなかった**。

5. 採取状況(滞留水)

	採取位置	採取量
当初計画	水面下約 1 m	約 2 5 0 c c
	トーラス室底面上約 1 m	約 2 5 0 c c



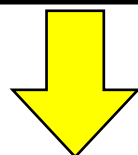
トーラス室階段と干渉のため、採取位置の見直し

	採取位置	採取量	容器表面線量
実績	水面下約 1 m	約 5 0 0 c c	約 0.1 mSv/h

分析予定項目	導電率, pH, 塩素イオン濃度, Sr 89/90濃度, トリチウム濃度, ・ ・ 核種濃度
--------	--

6. 採取状況(堆積物)

	採取位置	採取量
当初計画	トーラス室底部	微量(数cc)



トーラス室階段と干渉のため、採取位置の見直し

	採取位置	採取量	容器表面線量	分析予定項目
実績	トーラス室階段 踊り場上面 (約OP.1700)	約5cc	約0.1mSv/h	核種分析



7. 実績線量

	調査項目	個人最大被ばく線量
4/11 (木)	温度測定(雰囲気・滞留水)	1. 65mSv
	線量測定(雰囲気・滞留水)	
	画像取得(トーラス室内)	
4/12 (金)	滞留水採取	2. 59mSv
	堆積物採取	